

【EMD.GR.JP 掲載のニュース】

(2005年7月19日～

2005年8月29日分)

ソフトバンク BB、月額 290 円の公衆無線 LAN サービスを発表

ソフトバンク BB は、公衆無線 LAN や PHS データ通信サービスなどに対応した「おでかけアクセス」を 2005 年 10 月 3 日に開始すると発表した。

「おでかけアクセス」では、Yahoo! BB が試験サービスとして運営していた「Yahoo! BB モバイル」のインフラ管理や運営を日本テレコムへ移行。日本テレコムが運営する「モバイルポイント」と統合した新サービス「BB モバイルポイント」をアクセスポイントとして採用する。

これにより、マクドナルドなどの飲食店で利用可能だった Yahoo! BB モバイルのエリア 660 カ所、JR 駅構内や周辺施設で利用可能だったモバイルポイントのアクセスポイント 120 カ所を統合した約 820 カ所が BB モバイルポイントで利用可能になる。

また、おでかけアクセスでは、公衆無線 LAN 以外に PHS および 3G 携帯電話でのインターネット接続、海外ローミングサービスも提供し、それぞれ別々に契約できる。ウィルコムとのデータ通信サービス「AIR-EDGE」、au の「Packet-One」「Packet-Win」に対応する。

公衆無線 LAN の月額料金は 290 円(消費税別)で、Yahoo! BB の無線 LAN パック利用者は無料。PHS および 3G 携帯電話に対応した「モバイル接続」は月額 200 円(消費税別)。

なお、海外ローミングはすでに提供されているが、接続方法などが 2005 年 10 月 3 日から変更になる。料金は海外ダイヤルアップが 1 分 21 円、無線 LAN と有線 LAN が 1 分 42 円で、ダイヤルアップ接続の場合は別途通話料が必要。また、通話料を含んだ「トールフリー」も 1 分 42 円で利用できる。(いずれも消費税別)。

(8/29)

クリエイティブ、「Zen Neeon」にウイルス混入

クリエイティブメディアは、同社が 2005 年 7 月より発売している 5GB HDD 搭載のオーディオプレーヤー「Zen Neeon」のプレーヤー本体にワーム型ウイルス

「W32.Wullik.B@mm」が混入しているロットがあることを確認したことを発表した。

混入は新規に製造を開始した工場の特定ロットに限られており、ワームの影響を受ける可能性のある Creative Zen Neeon は出荷準備及びまたは 7 月下旬から製造出荷された総数の 1 パーセント未満(該当ロットからの日本への出荷割り当て約 3,700 台のうち 5%以下)としている。

ウイルス混入の可能性のあるプレーヤー本体のシリアル番号は、「M1PF123052800001M」～「M1PF1230533001680Q」の製品。ボディカラーはパープル/ブルー/オレンジ/レッド/シルバーの 5 色。

原因は Creative Zen Neeon の最終パッキング作業工程の複数のオフラインシステム上で発生したことが判明しており、現在これらのシステムは速やかに撤去され、すでに問題は修正されたとしている。

(8/26)

D&M、MP3 プレーヤー「Rio」事業から全世界的に撤退

ディーアンドエムホールディングス(D&M)は、2005 年 9 月末で「Rio」ブランドで展開する MP3 プレーヤーの販売活動を終了し、全世界的に MP3 プレーヤー事業から撤退すると発表した。

D&M では 2003 年 4 月より Rio 事業を展開していたが、規模による市場競争が激化し、価格競争もさらに熾烈化しており、コアであるプレミアム AV 事業との戦略的シナジーが少なく、またポータブル・オーディオ技術を吸収するという、当初の目的は既に果たされていることから、撤退を決定したとしている。

なおアフターサービスや、修理、保証、販売店に対するサポートは、D&M が引き続き対応する。

また、2005 年 7 月に米 SigmaTel へ、MP3 プレーヤー事業の知的財産、および技術資産の一部を売却しているが、知的財産や技術リソースに対するアクセスはそのまま確保する。

(8/26)

インテル、デジタルホーム向けの新ブランド「Viiiv」を発表

インテルは、サンフランシスコで開催中の「インテル・デベロッパ・フォーラム(IDF) Fall 2005」で、家庭で

りデジタル・エンターテインメントを楽しむことのできる、新しいタイプの PC プラットフォームのブランド「インテル Viiiv(ヴィーブ)テクノロジー」を発表した。

Viiiv は、PC で映画や音楽、ゲームといったエンターテインメントを楽しむためのブランド戦略。

具体的には、Windows Media Center Edition とリモコンの連携により、音楽をダウンロードしたり、ゲームや映画を楽しんだりといったことが可能になる。

また、「クイック・レジューム・テクノロジー」により、一度 PC を起動した後は、ボタンを押すだけで PC の電源 ON/OFF が行なえる。さらに、5.1ch サラウンドシステムをサポートし、7.1ch もオプションで設定できるようにする。

また、オプションの TV チューナカードを使用してテレビのタイムシフト視聴が行なえるほか、HDD への録画も可能。VOD サービスにも対応する。

ネットワーク設定がリモコンで行なえるウィザードをソフトウェアに内蔵し、ポータブルプレーヤーや DVD プレーヤー、テレビなど多くの機器とネットワーク接続が可能。また、コンテンツ共有のための仕様も策定している。

筐体は、デスクトップ型のほかに、DVD プレーヤーのような AV 家電風のデザインも想定しており、インテル Viiiv テクノロジーを搭載した PC は 2006 年の第 1 四半期から各国の PC メーカーより発売される予定としている。

(8/25)

ソニー、新型デザイン採用のネットワークウォークマン発表

ソニーは、ラウンドシェイブの新デザインを採用した FM チューナー搭載ネットワークウォークマン「NW-E307」「NW-E305」の 2 製品を 2005 年 10 月 26 日に発売すると発表した。

NW-E307 と NW-E305 は、USB 端子と FM チューナーを搭載したフラッシュメモリ型のネットワークウォークマン。「NW-E307」が容量 1GB、「NW-E305」が容量 512MB。

手になじみやすい丸みのある形状で、片手で簡単に使える操作性を実現。また、カバーをスライドさせると USB 端子が本体より自動的に飛び出す機構を採用し、コンパクトなボディながら、USB 端子内蔵を

実現している。

対応する音声圧縮形式はATRAC3plusとMP3。

ディスプレイには、漢字表示に対応した有機 EL ディスプレイを搭載で、表示桁数は1行。楽曲再生中の画面では時計/日付表示に加えて、季節ごとに変化する「フルーツ」表示機能や、時間とともに1日の風景が変化する風景別表示なども設定できる。

連続再生時間は最長約50時間(ATRAC3 132kbps、パワーセーブモード:ノーマル)。充電は約3分で約3時間の再生が可能な急速充電に対応し、約45分で80%、約2時間でフル充電が完了する。

本体サイズは67.8×39.0×24.1mm(幅×奥行×高)で、重量は45g。製品には、専用USB接続補助ケーブル、ヘッドフォン延長コード、音楽管理ソフト「SonicStage Ver.3.2」などが付属する。

本体色はココナッツホワイト、トピカルアイズブルー、コットンキャンディーピンクの3色で、製品には各本体色にあったヘッドフォンが付属する。価格はいずれもオープン。

このほか、NW-E307では本体色がリコリッシュブラックのソニースタイル限定モデル「NW-E307/B」が設定されている。

(8/25)

NTTBPとプロント、「PRONTO」への公衆無線LAN導入で合意

NTTブロードバンドプラットフォーム(NTTBP)とプロントコーポレーション(プロント)は、プロントが運営する飲食店に公衆無線LANのアンテナ設備を設置することで合意したと発表した。

公衆無線LANの設備が設置される店舗は、プロントが運営する飲食店「PRONTO」および「Caffe Solare」。公衆無線LAN導入後は、NTT東日本およびNTT西日本の「フレッツ・スポット」とNTTドコモの「Mzone」が利用可能となる見込み。

2005年9月中旬より順次導入を開始し、2006年3月末を目標に全店舗でのサービス提供開始を目指すとしている。

なお、プロントではNTT-MEの公衆無線LANをバックボーンとした独自の公衆無線LANサービスを一

部店舗で提供しているが、今回のNTTBPによる公衆無線LAN導入にともないサービス提供を終了する。

(8/25)

オンキヨーとJストリーム、高音質音楽配信向けの合弁会社を設立

オンキヨーとJストリームは、家庭向けのコンテンツ配信ビジネスに関する合弁会社を設立することで基本合意したと発表した。

合弁会社の社名は株式会社CO3(シーオースリー)を予定。資本金は9,000万円で、出資比率はオンキヨーが44.4%(4,000万円)、Jストリームが55.6%(5,000万円)。

合弁会社は、CDを超えるハイクオリティな音楽の配信など、既存のコンテンツ配信ビジネスより、より高品位なコンテンツを扱うことを目指して設立される。

具体的には、オンキヨーとJストリームが行なうリッチコンテンツ配信関連事業のうち、課金認証や著作権管理などのプラットフォーム提供/運営管理を担当する予定。

2005年9月を目処に合弁会社として新規設立、2005年10月中旬に営業を開始する予定。

(8/25)

リッスンジャパン、「NHJ Music Store」を「Listen Music Store」に統合

リッスンジャパンは、エヌエイチジェイ(NHJ)の音楽配信サービス「NHJ Music Store」を「Listen Music Store」に統合すると発表した。

NHJ Music Storeは、2004年11月19日よりサービス開始した音楽配信サービス。リッスンジャパンのプラットフォームを利用し、WMA形式の音楽配信サービスを提供していた。

今回のサービス統合は、NHJが2005年8月8日に東京地方裁判所に破産手続きを申請、受理されたことを受けて行なわれたもの。

NHJ Music Storeを利用していたユーザーは、登録メールアドレスとパスワードの変更手続きなく、Listen Music Storeでサービスが利用できる。また、楽曲をダウンロードできるクーポン券に関しても、

Listen Music Storeで利用が可能。

なお、NHJ Music StoreのURLは2005年8月31日をもって閉鎖される。

(8/24)

インテルなど、つくばエクスプレスでの無線LANトライアル詳細を発表

首都圏新都市鉄道、インテル、NTTブロードバンドプラットフォーム(NTTBP)は、2005年8月24日に開業予定の「つくばエクスプレス」における列車内での無線LANトライアルに関して詳細を発表した。

このトライアルは、列車内でのインターネット接続に関する技術とサービスを検証するために行なわれるもの。

首都圏新都市鉄道が敷設した光ファイバ網を利用して駅構内に無線LAN基地局を設置し、列車の前後に設置されたアンテナとIEEE 802.11b/gで通信を行なう。

列車ではIEEE 802.11aで複数のアクセスポイントを結び、ユーザーの端末からはIEEE 802.11bで接続する。モバイルIPや高速ハンドオーバー技術を利用することで、時速130kmでの通信もサポートするとしている。

トライアルは2005年8月24日から2006年3月31日まで行なわれ、モニターを300名程度募集する。モニターの対象は東京都、神奈川県、千葉県、埼玉県、茨城県、栃木県、群馬県、山梨県に住むユーザーで、トライアルの料金は無料。

利用可能な区間は秋葉原駅、新御徒町駅、浅草駅、南千住駅、北千住駅の5駅4区間で、トライアルの利用は列車内での利用に限られる。

(8/23)

マイクロソフト、携帯機器向けOS「Windows Mobile 5.0 日本語版」発表

マイクロソフトは、Pocket PCなどのモバイルデバイス向けプラットフォームの最新版であるMicrosoft Windows Mobile 5.0 日本語版を、ハードウェアメーカーに向けて提供開始すると発表した。

「Windows Mobile 5.0 日本語版」は、PDAやスマ

ートフォンなど携帯情報機器向けのプラットフォーム。

新たに、ハードディスクドライブや QWERTY キーボード、USB 2.0に対応。また、不揮発性メモリを採用したことで、バッテリーが切れて一定時間経過しても、携帯機器内のデータや設定が消失することがなくなったという。

Office ソフトの機能向上も図られているほか、法人向け機能として、Exchange Server と同期し、複数の端末を一括管理できる「Messaging and Security Feature Pack for Windows Mobile (MSFP)」が標準搭載される。

マルチメディア機能として Windows Media Player 10 を搭載。著作権管理 (DRM) 機能の追加も可能となっており、著作権で保護されたデジタル音楽や映像などのコンテンツや、再生リスト、アルバム、評価などを PC と同期して楽しむことができる。

Windows Mobile 5.0 および MSFP 搭載のデバイスは、今後各ハードウェアメーカーより随時リリースされる予定。また、日本ヒューレット・パッカーは、HP iPAQ hx2000 シリーズを対象とした Windows Mobile 5.0 へのアップグレードサービスを今秋、提供開始する予定としている。

(8/23)

アスク、無線 LAN 対応のネットワークオーディオプレーヤーを発表

アスクは、米 ROKU 製品の取り扱いを開始し、2005 年 10 月より ROKU「Sound Bridge」ネットワーク・ミュージック・プレーヤー「M2000」および、「M1001」の 2 モデルを販売開始する予定と発表した。

両モデルとも、Ethernet 端子と無線 LAN 機能を搭載し、PC 内の音楽データを外部のオーディオプレーヤーやアンブ内蔵スピーカーで再生できるネットワークプレーヤー。本体は円筒形のアルミ製ケースで、スピーカーは内蔵しない。

M2000 は、24bit オーディオ DAC を搭載。対応するファイル形式は WMA/AAC/WAV/MP3/AIFF。

WMA の DRM もサポートするが、iTunes ミュージックストアのプロテクト済み AAC には対応しない。ドルビーデジタル/DTS の 5.1ch サウンドもサポートする。

また、WiFi カードスロットを搭載し、付属の CF 型カードで IEEE 802.11b 対応の無線 LAN に対応する。

対応プロトコルは、Roku Control Protocol/Bonjour/iTunes DAAP/UPnP AV/Windows Media DRM/ WEP/AutoIP/DHCP/ TCP/ TELNET/HTTP/SlimServer。

ディスプレイは VFD で、解像度は 512×32 ドット。表示の明るさとフォントサイズを変更可能で、フォントは 3 サイズから選択できる。再生時のビジュアルライザーは 4 種類用意する。

曲名/アーティスト/アルバム/作曲家/ジャンルの表示が可能で、日本語表示もサポートする。曲名/アーティスト/アルバム/作曲家からの検索も行なえる。操作は全てリモコンで行なう。

再生周波数帯域は 20Hz~20kHz。ダイナミックレンジは 96dB。出力端子は光/同軸デジタル出力が各 1 系統、アナログ音声 (RCA) が 1 系統。外形寸法は 69×431.8mm (直径×幅)、重量は 1.247g。リモコンや Ethernet ケーブル、ラバー素材のスタンドなどが付属する。

M1001 は、搭載するオーディオ DAC は 20bit で、対応するファイル形式は M2000 と同じ。

出力端子は光/同軸デジタル出力が各 1 系統、アナログ音声 (ステレオミニ) が 1 系統。VFD の解像度は 280×16 ドット。WiFi カードスロットは搭載せず、無線 LAN 機能は内蔵している。

外形寸法は 60×254mm (直径×幅)、重量は 680g。リモコンやスタンドなどが付属するが、Ethernet ケーブルは付属しない。

(8/22)

ヤフー、フルサイズの音楽をいつでも無料で聴けるサービス開始

ヤフーは、提供する音楽ポータルサイト「Yahoo!ミュージック」において、約 10 万曲の楽曲をフルコースで無料聴取できる新サービス「Yahoo!ミュージック サウンドステーション」を 2005 年 8 月 22 日より開始したと発表した。

「Yahoo!ミュージック サウンドステーション」は、アーティスト別、ジャンル別など全 35 チャンネル 72 番組から選択し、自動選択されたフルレングスの 10 曲を専用プレーヤーで聴くことが可能なストリーミング配

信サービス。

トップページからチャンネルとその中の番組を選択すると、専用プレーヤーが起動。自動で 30 秒の映像付き広告が配信された後、自動選択された 5 曲を再生する。再び 30 秒の広告が流れた後、次の 5 曲が開始する。1 つの番組には 100~300 曲を用意。楽曲再生中、プレーヤーには CD 購入ページや、アーティスト情報ページへのリンクも表示される。

動作環境は、OS が Windows XP/2000/Me/98SE、ブラウザが Internet Explorer 5.5 以降で、Windows Media Player 9.0 以上、Macromedia Flash Player 6 以上。配信帯域は 32kbps。著作権保護方式として Windows Media DRM を採用している。

なお、Yahoo! JAPAN ID でログインをしていない場合、3 曲目終了後にメッセージが流れ、ログインすると引き続き再生が行なわれる。広告や曲はスキップできず、曲の演奏中に一時停止のみ可能となっている。

(8/22)

東芝 EMI、音楽 CD に著作権保護を施した「セキュア CD」を導入

東芝 EMI は、音楽 CD の著作権保護方式として新たに「セキュア CD」を導入すると発表した。

PC で使用する際の著作権保護と使い勝手の向上を考慮したものととして、2005 年 8 月 31 日に発売する一部タイトルから採用する。

セキュア CD は、CD プレーヤーなどで通常の音楽 CD と同様に再生が可能。ただし、CCCD と同様に、PC で読み込む際にいくつかの制限が設けられている。

まず、PC に挿入すると自動的に専用ソフトが起動。同ソフトを使って CD-DA データの再生、HDD へのコピー、CD-R へのディスク一括コピーが可能になる。

HDD コピー時に選択できる圧縮フォーマットは WMA のみで、DRM 保護付きの WMA ファイルが作成される。CD-R へのコピーは専用ソフトを使ったディスク一括コピーと、Windows Media Player を使った曲毎のコピーが可能。ただし、いずれもディスクにあらかじめ設定されている回数だけとなる。

作成した WMA ファイルは、Windows Media Player を利用して WMA DRM に対応したポータブルオーディオプレーヤーに転送が可能。また、カセットなどへのアナログ録音も行なえる。さらに、MD や DAT などへのデジタル録音については一世代のみコピー可能となっている。

専用ソフトの対応 OS は Windows XP のみで、64bit 版 Windows や Mac OS には対応していない。iTunes や MAGIQLIP2、SonicStage などにも対応していない。

なお、セキュア CD を採用した CD のパッケージには「パソコンでのご使用には制約があります」と表示する。

(8/19)

オリコンとレーベルゲートが業務提携

オリコンとレーベルゲートは、音楽配信サービスについて業務提携することで基本合意したと発表した。

今回の業務提携を受け、オリコンの音楽配信サービス「ORICON STYLE」において 2005 年 12 月から ATRAC 形式での音楽配信を開始する。

さらに、現在「Mora」に参加する各レコード会社との協議により「ORICON STYLE」サイトにおける楽曲のラインナップが格段に充実する見込みとしている。

システムとしては、決済までを ORICON STYLE、実際の楽曲配信を Mora 側で行い、オリコンには Mora 参加各レコード会社から配信数に応じた決済手数料が支払われる。

(8/18)

Yahoo! BB 向け有線音楽放送「BB Audio」が終了

ビー・ビー・ケーブルは、2005 年 1 月より開始した ADSL 回線を利用した有線ラジオ放送サービス「BB Audio」を 2005 年 9 月 30 日に終了すると発表した。

BB Audio は、ソフトバンクが提供しているバックボーン回線、および ADSL 回線を使った有線ラジオ放送サービス。

回線に接続する専用チューナーを利用し、IP マルチキャスト技術を使って送信された放送を受信。チ

ューナーをオーディオシステムなどと接続することで、PC を使わずに音楽放送が楽しめる。

今回終了するサービスは、「BB Audio 音楽放送サービス(業務用、家庭用)」と「専用チューナーレンタルサービス(業務用、家庭用)」。

なお、BB Audio の新規申し込みについては、既に 2005 年 8 月 1 日に終了していた。

既存ユーザーに対しては、BB Audio の楽曲提供で提携しているキャンシシステムのサービスへ乗り換えを勧め、乗り換え費用はビー・ビー・ケーブル側で負担する。

(8/18)

So-net、オンラインジュークボックス「Wonder Juke」を終了

ソニーコミュニケーションネットワーク(SCN)が運営する So-net は、オンラインジュークボックスサービス「Wonder Juke」を 2005 年 9 月 30 日で終了すると発表した。

Wonder Juke は、月額料金制で曲数の制限なく楽曲をストリーミング再生できるオンラインジュークボックスサービス。

世界中の音楽を配信する「Wonder Juke」、クラシック音楽に特化した「Wonder Juke Classic」の 2 サービスを提供。So-net 継続会員は月額 480 円、月額基本料金が無料の「こんてんつコース」会員は月額 880 円で利用できた。

(8/18)

247music、フリーダウンロード配信の総合音楽サイトを開設

に・よん・なな・みゅーじっく(247music)は、無料ダウンロードを基本とした楽曲配信や、楽曲の紹介・プロモーション、ネットラジオなどを提供する総合音楽サイト「mF247(ミュージック・フォーキャスト 247)」を 2005 年 12 月にスタートさせると発表した。

mF247 は、アーティストがプロモーションのために楽曲を登録し、インターネット上に公開(nR: ネットリリース)できるサイト。

登録されている楽曲は基本的に無料でダウンロードできる。フォーマットは MP3 を採用し、DRM はフリー

ーに設定されており、ダウンロードした楽曲はポータブルプレーヤーへの転送、CD-R へのライティングも自由に行なえるほか、ファイルのコピーも制限されていない。ビットレートは 128kbps。

アーティストが楽曲を登録するには審査があり、1 曲 10,000 円の登録料が必要。2 曲目以降は 1 曲につき 1,000 円で、合計 3 曲(12,000 円)まで登録できる。なお、18 歳以下のアーティストには 5,000 円の割引サービスを用意。10 月 25 日の受付開始から 12 月のサイトオープンまでは無料で登録できる。

無料配信は、アーティストの意思で有料配信への切り替えも可能。単価は 1 曲 99 円を予定しており、その内 70 円程度がアーティスト(権利者)へ支払われる。なお、有料配信した楽曲も MP3 の DRM フリーの予定。

また、JASRAC、コピナビが管理している曲や、出版社と契約している楽曲などについては、当該楽曲の「インタラクティブ配信」の部分を e-license に管理委託し、無料配信が可能な契約になっている必要がある。この契約が困難な場合や、247Songs(音楽出版社)に楽曲の著作権管理、プロモーションを依頼したい場合は、作詞家・作曲家の希望で 247Songs と音楽出版契約を結ぶことができる。

サイトの機能としては、ダウンロード数をチャート形式で掲載する「nF Charts」、CD 予約件数が設定枚数を越えたら 247music から CD をリリースするという「Disc Gather」、ライブ観覧希望者が最低催行人数を越えたら 247music がライブを開催する「Live Gather」が準備されている。

また、登録曲の紹介をメインとした Podcast 対応のネットラジオ「mf Station」も配信。登録曲の中からお勧めの楽曲をレコメンドする「nj(ネット・ジョッキー)」制度も導入する。さらに、ユーザーが nj として参加する「ynj(ユース・ネット・ジョッキー)」も用意する。

さらに、「big“A”(ビッグ・アーティスト)」枠を設置、mF247 で新曲なども発表するとしている。

(8/18)

NHJ が、東京地裁に準破産申請を申請

エヌエイチジェイは、2005 年 8 月 8 日に東京地方裁判所へ準自己破産を申請した。

同社は、1999 年 1 月に設立。2000 年にはデジタ

ルカメラ「Che-ez」や、オーディオプレーヤー「v@mp」を販売開始。デジタル機器の卸を主力に、時計類、カシミア製品など衣料品の販売も手がけている。

2005年7月にはウォルト・ディズニー・ジャパン株式会社とライセンス契約を結び、今秋よりディズニーのキャラクタをモチーフにしたオーディオプレーヤーや、デジタルカメラの発売を予定していた。

2005年3月期には年売上高約30億2000万円を計上していたが、デジタル携帯音楽プレーヤー市場には国内外の大手業者が相次いで参入するなど競争は激化。加えて、海外の現地法人の販売不振などの影響から急速に資金繰りは悪化している。

負債は約30億円。

(8/11)

AVC Tech、ギタリスト・布袋寅泰のコラボレーションモデルを発表

AVC Technology Japanは、ポータブルオーディオプレーヤー「SIGNEO SN-M500」とギタリスト・布袋寅泰氏のコラボレーションモデル「SN-M500 布袋寅泰モデル」を限定発売すると発表した。

2005年8月発売の「SN-M500」をベースに、布袋氏がデザインしたポータブルオーディオプレーヤーで、仕様はSN-M500の256MBモデルと同じ。

ギターやグッズに使用している「G 柄」を前面にあしらひ、布袋氏の持つイメージと、「刀」をモチーフにした同製品のシャープなデザインがマッチしたとしている。

布袋氏のオフィシャルサイトで2005年8月10日より予約を開始するほか、2005年9月2日にさいたまスーパーアリーナで開催されるコンサート「MONSTER DRIVE BIG PARTY!!!」の会場でも販売される。

AVC Technology Japanでは、今後も様々なアーティストやデザイナー等とのコラボレーション企画を積極的に進めていくとしている。

(8/10)

RIAJ、音楽配信の2005年上半期売上を公表

社団法人日本レコード協会(RIAJ)は、インターネットや携帯電話での売り上げを含めた2005年上半期(1月~6月)の「有料音楽配信売上実績」を公表した。

有料音楽配信売上実績の公表は、日本国内におけるインターネットや携帯電話などによる有料音楽配信市場の拡大、および国際レコード産業連盟(IFPI)による世界レベルでの音楽配信統計の開始を踏まえて開始された。

同統計では、RIAJの会員社42社がライセンスまたは販売委託によって配信している楽曲などの実績が集計されている。

2005年上半期における有料音楽配信の売り上げ実績は141億6,434万4,000円で、総数量は1億1,107万3,000回。なお、数量に関してシングルは曲単位、アルバム・ミニアルバムは構成単位で集計されている。

分野別の数値も公表。それぞれの分野と項目内容としては、「インターネット・ダウンロード」がシングル・アルバム・ミニアルバムなどの合計値、「モバイル」がオリジナル音源を利用したシングル曲(全曲、一部)やオリジナル音源利用の着メロ、関連コンテンツ、定額契約収入の合計値、「定額契約収入」がモバイル以外のチャネルで提供している定額契約で、それ以外が「その他」にまとめられている。なお、定額契約収入の数量は未公表。

インターネット・ダウンロードは売り上げが5億3,879万3,000円で数量が215万2,000回、モバイルは135億9,146万5,000円で1億890万3,000回、定額契約収入は1,823万4,000円、その他が1,588万1,000円で1万8,000回。また金額ベースの構成比率は、モバイルが96.0%と売り上げのほとんどを占めており、それ以外ではインターネット・ダウンロードが3.8%、定額契約収入とその他が各0.1%となった。

このほか、2005年1月~3月、同年4月~6月の各四半期ベースの数値も公表されている。このうち4月から6月までの実績をみると、合計値は前期(1月~3月)比113%の75億2,029万7,000円で、数量は5,892万2,000回。分野別ではインターネット・ダウンロードが74%の2億2,846万3,000円で104万4,000回、モバイルが同115%の72億7,501万円で5,786万8,000回、定額契約収入が同102%の920万2,000円、その他が同93%の

765万2,000円で1万回。

なお、RIAJでは今後も四半期ごとに有料音楽配信売上実績の公表を行なっていく予定としている。

(8/10)

JMAR、「ポータブルデジタルオーディオと音楽配信」に関する調査結果を発表

日本能率協会総合研究所(JMAR)は、ポータブルデジタルオーディオプレーヤーと音楽配信サービスに関する消費者調査の結果を発表した。

今回の調査は、全国の15歳以上の男女を対象にWeb調査を実施。有効回答14,808サンプルをまとめている。調査期間は7月8日から8月1日まで。なお、今回の調査では、「ポータブルデジタルオーディオプレーヤー」は、HDD型携帯音楽プレーヤーやメモリ型携帯音楽プレーヤーと定義している。

レポートによると、音楽配信サービスの利用経験は、全体の31.5%が「利用経験あり」と答えた。また、ポータブルオーディオプレーヤーを1年以内に購入した人ではさらに比率が上がり、50.3%の人が、利用経験があると回答した。また、有料サービスを利用したことがある人は25.9%。

「知っている音楽配信サービス」では、1位が「TSUTAYA online」の37.4%で、続いて「bitmusic」(ソニーミュージック)の32.4%、「Yahoo! Music」の30.0%となった。「ポータブルデジタルオーディオプレーヤー1年以内購入者」では、「iTunes Music Store(アップルコンピュータ)」も34.9%の認知度となった。

また、「利用したことがある音楽配信サービス」では「bitmusic」が14.4%で1位となり、次は「Yahoo! music」(8.6%)、「TSUTAYA online」(8.3%)の順。

「ポータブルデジタルプレーヤーの認知度」では、ソニー(ネットワークウォークマン)が82.0%で最も多く、次はアップルコンピュータ(80.2%)、パナソニック(55.7%)、ケンウッド(48.7%)、東芝(48.3%)が続いている。

なお、「Rio Japan」、「アイリバー」、「クワイエティブ」などは、全体としての認知度は低かったが、ポータブルオーディオプレーヤーを1年以内に購入した人では20~30%台が認知していた。

(8/9)

USEN、光ファイバサービスの取り付け総数が7月末で34万件突破

USENは、2005年7月31日現在でのブロードバンド事業の進捗状況を発表した。

これによると、工事日が確定している契約者数が前月比23,070増の512,440件、回線が開通している取付数が前月比17,238増の343,993件となった。

なお、取付数の内訳では、7月の完成数が20,694件、解約数が3,456件となっている。

また、形態別の内訳では、戸建てが前月比64減の8,213件、集合住宅が前月比16,680増の314,401件、法人用途のオフィス・商業ビルが前月比622増の21,379件となっている。

同様に、集合住宅における1棟あたりの平均加入戸数は6.49(集合住宅8.74、法人用途のオフィス・商業ビル1.33)、集合住宅取付棟数は前月比1,413増の52,016(集合住宅35,982、法人用途のオフィス・商業ビル16,034)となっている。

(8/8)

iTunes Music Store、国内サービス開始4日間で100万曲販売を突破

アップルコンピュータは、2005年8月4日より国内で開始した有料音楽配信サービス「iTunes Music Store」(iTMS)において、開始後4日間に販売した楽曲ダウンロード数が100万曲を突破したと発表した。

楽曲のダウンロード数が100万曲を突破したのは、サービス開始から4日目となる8月7日。最も販売数が多かった楽曲はDef Tech、アルバムはウルフルズと、ともに日本のアーティストが1位となっている。

なお、2003年4月29日よりスタートした米国のiTMSでは、1週間で100万曲を突破している。

(8/8)

AVC Tech、キリン「氷結」キャンペーンにオリジナルプレーヤー提供

AVC Technology Japanは、キリンビールの「キリンチューハイ 氷結(お酒)」の販促キャンペーン「氷結

デジ音3キャンペーン」のプレゼント向けに、ポータブルオーディオプレーヤー「SIGNEO(シグネオ)」の限定モデル「氷結スペシャルバージョン」を提供すると発表した。

キャンペーンの応募期間は2005年9月1日～11月21日。対象製品に付いている応募シールを集めると、抽選で10,000名に「氷結スペシャルバージョン」が、10,000名に「氷結&パーティグラスセット」が当たる。

「氷結スペシャルバージョン」は、豪出身のインダストリアルデザイナー、マーク・ニューソン氏と共同プロデュースするMP3/WMAプレーヤー。「氷結」を象徴するブルーとダイヤモンドをイメージしたとしている。

プレーヤーのメモリ容量は512MB。対応する音声圧縮形式はMP3/WMA。ハードミラー加工された円形の青色ELディスプレイを搭載する。ダイレクトエンコーディングに対応するほか、ボイスレコーダやFMチューナーも備える。

外形寸法は約70×50×7mm(縦×横×厚さ)、重量は約40g。なお、仕様は開発段階のもので、実際の製品とは異なる場合がある。

(8/8)

オンキヨー、24/16bitの高音質音楽配信サービスを開始

オンキヨーは、24/16bitの音楽ファイルを中心とした有料の高音質音楽配信サービス「e-onkyo music store」を2005年8月8日午後1時からスタートすると発表した。

配信フォーマットはWMA Pro Lossless(24bit/96kHz)と、WMA Lossless(16bit/44.1kHz)の2種類。

サービス開始当初の登録楽曲は33曲で、その内24bitはEiベックスネットワークから提供されるglobeのニューアルバム「globe2 pop/rock」の11曲。なお、CD発売は8月10日のため、先行配信となる。

16bitの楽曲は自社レーベルである「Premium Stones」作品から、22曲をラインナップする。

価格は1曲200～252円。Windows Media Technologies10をサポートするポータブルプレーヤーへの転送に対応し、転送回数はEiベックスの楽曲

が3回、Premium Stonesが10回まで可能。CD-Rへの書き込みには対応していない。

(8/5)

OnGen、一部楽曲の価格を改定

USENが運営する音楽配信サービス「OnGen USEN MUSIC SERVER(OnGen)」は、2005年8月4日付で一部楽曲の価格改定を行うと発表した。

シングル楽曲は210～270円が150～200円に、アルバムは1,200～2,400円が1,000～2,150円に値下げされる。中心価格帯はシングルが150円、アルバムが1,600円。

(8/5)

Listen Music Store、一部楽曲の価格を改定

リッスンジャパンが運営する音楽配信サービス「Listen Music Store」は、2005年8月4日付で一部楽曲の価格改定を行ったと発表した。

価格改定の対象となるのは、東芝EMI、コロムビアニュージックエンタテインメント、ブルース・インターアクションズ、ダブルジョイレコーズが提供する楽曲。

シングル楽曲はこれまで270円もしくは240円で提供していたものを、一律150円に、またアルバムに関しては、2,400円のを1,500円に値下げした。

(8/5)

goo Music Store、一部楽曲を値下げ

NTTレゾナントが運営する音楽配信サービス「goo Music Store」は、2005年8月5日付で一部楽曲の価格改定を行うと発表した。

シングル楽曲は210～270円が150～200円に、アルバムは1,575～2,400円が900～1,500円に値下げされる。中心価格帯はシングルが150円、アルバムが1,500円。

(8/5)

シーラス・ロジック、ポータブル機器向けステレオコーデックを発表

米 Cirrus Logic は、ポータブルオーディオ向けのステレオコーデック「CS42L51」を発表した。

「CS42L51」は、ポータブルオーディオプレーヤーや MD プレーヤー/レコーダ、ボイスレコーダなどバッテリー駆動の機器向けステレオコーデック。

最大の特徴は低電圧での高出力駆動で、1.8V 時に 16Ω のステレオヘッドフォンを使用した場合、46mW の出力が可能となっている。

また、オンチップで負電源電圧を発生させることによりグラウンド・センター出力を実現。DC ブロッキングコンデンサが不要になったため、ポータブル機器の小型化に有利であるという。

マルチビット ΔΣ ベースの ADC/DAC を搭載するほか、3:1 ステレオ入カマルチプレクサ、プログラム可能なゲインアンプ、ステレオマイクロフォンプリアンプを採用している。

また、低ノイズバイパス電源やデジタルシグナルエンジンなどを備え、低/高音ブーストやリミッタ、音声発振機などの機能を搭載する。

既にサンプル出荷を 32L-QFN パッケージで開始しており、1,000 個ロット時の単価は 3.95 ドル。量産予定は 2005 年夏終わり頃としている。

(8/4)

Napster、タワーレコードと共同で日本市場の音楽配信に参入

米 Napster とタワーレコードは、日本での音楽配信事業を行なうための合弁企業を設立することで合意したと発表した。

新会社の名称は「ナップスタージャパン株式会社」(予定)。資本金は 4 億 9,000 万円。2005 年 10 月に設立、2006 年 4 月に日本市場でのサービス開始を予定している。

ナップスターは 2003 年 11 月から音楽配信事業をスタートさせ、米国、英国、カナダの 3 カ国で事業を展開。ドイツでのサービス開始も予定している。

1 曲単位で楽曲が購入できる従量制の「アラカルト・サービス」と、月々の会費を払うことで好きなだけ

楽曲がダウンロードできる定額サービス「サブスクリプション・サービス」を提供している。

会員数は合計で約 50 万人におよび、楽曲のストリーミング、ダウンロードの合計回数は開始以来約 5 億回に達しているとしている。

音楽配信事業参入にあたって、タワーレコードでは各店頭や自社で運営する e コマースサイト「@TOWER.JP」、店頭配布のフリーマガジン等との連動により、ユーザーサービスの充実や音楽市場の拡大を図っていくとしている。

(8/4)

iTunes Music Store、国内サービス開始

アップルコンピュータは、音楽配信サービス「iTunes Music Store」を 2005 年 8 月 4 日より日本で開始すると発表した。

音声圧縮形式は AAC。サービス開始当初は 15 社と協力し、登録楽曲数は 100 万曲としている。

基本的なサービスは、米国など他地域で展開している iTunes と共通で、ムービークリップやカバーアートの配信も行なわれる。

すべての楽曲は無料試聴が 30 秒間可能で、楽曲ごともしくはアルバムごとに購入できる。最大 5 台までの PC に転送できるほか、CD-R への書き込みおよび iPod への転送は無制限。

落語など約 1 万のオーディオブックも用意され、アーティストの楽曲すべてをセット配信する「Digital Box Sets」もスタートする。第 1 弾として B'z のレオトラクを含む 340 曲をセットにして 18,800 円で発売する。

好きな楽曲をミックスしてアルバムを作成する「iMix」機能も搭載し、作成した iMix は iTunes を利用して公開できる。

決済方法はクレジットカード。さらに、プリペイド方式の「iTunes Music Card」も 2,500 円、5,000 円、10,000 円をラインナップし、ビックカメラや、ヨドバシカメラ、ソフマップ、ヤマダ電機、コジマ、Amazon.co.jp、AppleStore などで販売する。

日本向けのコンテンツとしては、globe やウルフルズによる iTunes オリジナル曲や、Def Tech、CRAZY

KEN BAND、Chara、LITTLE CREATURES、綾戸智絵らの楽曲もラインナップされる。

(8/4)

エイバックス、携帯向けサービスと連動した音楽配信サービス開始

エイバックスネットワークは、携帯電話向け有料音楽配信サービス「ミュウモ」の会員を対象とした、PC での音楽配信サービス「@MUSIC ミュウモ」を 2005 年 8 月 4 日より開始すると発表した。

携帯電話用の「ミュウモ」は、エイバックス・エンタテインメント所属アーティストの楽曲を中心に、着うたや着信メロディ、着うたフルを配信する携帯電話向けのサイトで、i-mode、EZweb、Vodafone live! からそれぞれ登録・利用できる。

「@MUSIC ミュウモ」は、PC で利用する楽曲配信サービス。最大の特徴は「ミュウモ」と連携していることで、ミュウモで発行される ID とパスワードを利用して楽曲を購入する。

音声圧縮形式は WMA。ポータブルオーディオプレーヤーへの転送は無制限、CD-R への書き込みは 10 回まで可能。

配信する楽曲は、エイバックス・エンタテインメント所属のアーティストを中心に、ミュウモで紹介されたアーティストから順次追加する。

このほか、未発表曲の独占配信や発売前の楽曲の先行配信、ライブ音源の配信などを行なう予定。

(8/3)

NTT、2005 年度第 1 四半期末のフレッツ契約者数を公開

NTT(持株会社)は、2005 年度第 1 四半期末におけるフレッツシリーズの契約者数を公表した。NTT 東日本と NTT 西日本の数値を合計した契約者数は、フレッツ ADSL が 543.9 万件、B フレッツが 199.1 万件。

フレッツ・ADSL 契約者数は、2004 年度末から 3 カ月で NTT 東日本が 8 万 9,000 件増の 292.2 万件、NTT 西日本が 14.2 万件増の 251 万 6,000 件。フレッツ ADSL 合計では 3 カ月で 23.1 万件の純増。

B フレッツは、NTT 東日本が 20.1 万件増の 108.6

万件、NTT 西日本が 12.5 万件増の 90.5 万件。NTT 東日本ではフレッツ ADSL の倍近い純増を達成。3 か月間の B フレッツ純増数は 32.6 万件で、フレッツ・ADSL の純増数を上回っている。

(8/3)

Pretec、世界最大容量の 4GB SD カードを発表

米 Pretec Electronics は、SD カードとしては世界最大容量となる容量 4GB の SD カードを発表した。

転送速度は 20MB/sec。65nm の製造技術を採用した 16Gbit SLC NAND により構成されている。

サンプル価格は 699 ドルで、2005 年 8 月に量産開始する予定としている。

(7/28)

楽天、USEN と提携し音楽ダウンロードサービスを開始

楽天は、USEN からの楽曲提供を受けて、有料音楽配信サービス「楽天ミュージックダウンロード」を 2005 年 8 月中旬より開始すると発表した。

ファイルフォーマットは WMA。DRM は Windows Media Rights Management を採用する。

楽曲数は約 100 レベルの計約 11 万曲。価格は 1 曲あたり百数十円～数千円(アルバム)。

ダウンロードページ内では、USEN の協力により、OnGen で行なっているアーティスト特集やポータブルプレーヤー特集、ダウンロードチャートなども実施する予定。

最大の特徴は、楽天グループ内の仮想商店街などで得たポイント「楽天スーパーポイント」でも楽曲が購入できること。1 ポイントは 1 円として利用できる。

(7/27)

D&M、Rio の MP3 プレーヤー事業の一部を米 SigmaTel に売却

ディーアンドエムホールディングス(D&M)は、保有する Rio の MP3 プレーヤー事業の知的財産、および技術資産の一部を米 SigmaTel に売却する契約を結んだことを発表した。

Sigmatel はテキサス州オースティンに本拠を構えるファブレスの半導体メーカーで、独自開発のアナログ/複合シグナルICを、MP3 プレーヤーのようなポータブルオーディオプレーヤーや、ノートデスクトップ PC、DVD プレーヤー、デジタル TV、セットトップボックスなどを含む様々な家電あるいはコンピューター市場の製品向けに販売している。

また、Sigmatel の技術は Rio やクワイエティブ、サムソンなどのフラッシュメモリ型 MP3 プレーヤーに採用されている。また、Rio の Carbon や Nitrus、クワイエティブなど向けに HDD 型プレーヤーの設計も行っている。

今回の契約に基づき、Sigmatel は Rio の開発要員の大多数を採用。Rio は今後も Sigmatel のチップを使用する MP3 製品については、無料でライセンス許諾を受け、MP3 技術にアクセス出来ることになっているとしている。

なお、売却金額は公開されていないが、第二四半期で約 US\$7 百万ドルの特別利益が見込んでいるとしている。

(7/27)

ソニー、オーディオソフト「SonicStage」をアップデート

ソニーは、音楽管理ソフト「SonicStage」の新バージョン「SonicStage Ver.3.2」を公開した。あわせて、レーベルゲートの音楽配信サービス「Mora」でも最新バージョンの無償ダウンロード提供が開始された。

SonicStage Ver.3.2 では、新たにメモリスティック PRO とメモリスティック PRO Duo への楽曲転送に対応した。

Ver.3.1 までの SonicStage は、通常のメモリスティック/メモリスティック Duo 以外のメモリスティック PRO/PRO Duo には転送できず、通常のメモリスティック Duo の場合、最大容量が 128MB のため、SonicStage を利用したオーディオ機能の利用範囲が限られていた。

さらに、PC の USB ポートに接続した「プレイステーション・ポータブル (PSP)」に対して、ATRAC3plus/ATRAC3 形式の楽曲を SonicStage から直接転送することが可能になった。なお、PSP への楽曲転送時には、PSP のファームウェアを「バージョン 2.00」に更新する必要がある。

加えて、音楽 CD からの録音時に著作権保護処理を行なうか選択が可能になるとともに、音楽 CD を ATRAC3 形式で取り込み際のビットレートが変更された。変更後の対応ビットレートは、ATRAC3plus 形式が 320/256/192/160/128/96/64/48kbps で、ATRAC3 形式が 132kbps。

このほか、Hi-MD 機器で録音した音楽データのマライブラリへの取り込み回数が無制限へと変更されている。

なお、ソニーでは VAIO 向けのアップデートサービスは現在準備中だとしている。

バージョンアップは、PSP 本体の無線 LAN 機能を使ったネットワークアップデートか、もしくは PC からダウンロードしたファイルをメモリスティック Duo に保存し、PSP からファイルを起動する方法の 2 通りが用意されている。

(7/27)

SCEI、ブラウザ機能が追加できる PSP 向け新ファームウェアを公開

ソニー・コンピュータエンタテインメント(SCEI)は、プレイステーション・ポータブル(PSP)向けの最新ファームウェア「バージョン 2.00」の公開を開始した。

バージョン 2.00 では、[ビデオ]、[ミュージック]、[フォト]などの機能ごとに大幅なアップデートが行なわれるほか、Web ブラウザ機能も追加された。

[ミュージック]機能では、“SonicStage”バージョン 3.2 以降との組み合わせで、“メモリスティック PRO デュオ”に“ATRAC3 plus”形式の音楽ファイルを転送できるようになった。

また、再生できるファイルの種類として新たにリニア PCM と AAC (MP4)に対応した。

その他には、ブラウザ機能が実装され、無線 LAN 機能を利用してインターネット上の Web サイトなどを閲覧できるようになった。ただし、Macromedia Flash の再生には対応していないほか、一部の Web ページでは正しく表示されない場合がある。

また、無線 LAN の暗号化方式は 64/128bit の WEP に加えて、WPA (TKIP)が追加された。

[ビデオ]では、新たにメモリスティック Duo 上の MPEG-4 AVC/H.264 再生に対応している。

バージョンアップは、PSP 本体の無線 LAN 機能を使ったネットワークアップデートか、もしくは PC からダウンロードしたファイルをメモリスティック Duo に保存し、PSP からファイルを起動する方法の 2 通りが用意されている。

(7/27)

So-net、PSP 用動画配信「Portable TV」を正式発表

ソニーコミュニケーションネットワーク(So-net)は、プレイステーションポータブル(PSP)にも対応した携帯再生機器向けコンテンツ配信サービス「Portable TV」(ポータブル・ティー・ヴィー)を発表した。

「Portable TV」は、PSP などで再生できる H.264/MPEG-4 AVC 形式(H.264)の動画ファイルを PSP 内のメモリスティックに配信するサービス。

最大の特徴は、H.264 形式の動画ファイルを配信すること。PSP 専用の配信サービスではないが、現在 H.264 形式の動画を再生でき、メモリスティックを採用している携帯プレーヤーは PSP のみのため、実質的には PSP 用のサービスとなっている。

配信する動画はメモリスティックビデオフォーマットに準拠しており、動画の解像度は 320×240 ドット、音声は AAC。利用方法は、パソコンから So-net のサービスページにアクセスし、パソコンに USB 接続した PSP のメモリスティックに動画ファイルをダウンロードする方式となる。

サービスは 2005 年 7 月 27 日より開始。スタート当初は無料ダウンロードサービスとして、映画の予告編やスポーツ、音楽、韓国ドラマ、アニメの第 1 話など、約 100 本をラインナップする。

今後、映画本編、音楽、バラエティなどの有料コンテンツを順次追加する予定。また、様々なジャンルを提供するコンテンツ事業者とも積極的な提携を進めていくとしている。

(7/25)

KDDI、ツーカーグループを吸収合併

KDDI は、ツーカーセルラー東京、ツーカーセルラー東海、ツーカーホン関西のツーカーグループ 3 社を、10 月 1 日を期日に吸収合併すると発表した。

ツーカーグループ 3 社は、2005 年 3 月に事業効率化などを目的に KDDI の完全子会社となっている。

今回の発表では、2005 年 7 月 25 日付けで KDDI がツーカーを吸収合併することで正式に合意。2005 年 10 月 1 日を期日にツーカーグループは解散し、KDDI に吸収される。合併に際して新株式の発行、および割り当ては行なわれない。

なお、ツーカーブランドは継続されるとしている。

(7/25)

RWC、SD カードスロット搭載のデジタルオーディオプレーヤーを発表

アール・ダブリュー・シー(RWC)は、SD カードスロットを備えた MP3/WMA プレーヤー「Atmosphere(アトモスフィア)」を 2005 年 7 月 23 日より発売すると発表した。

Atmosphere は、512MB のフラッシュメモリを内蔵したポータブルオーディオプレーヤー。SD カードスロットも備えており、メモリ容量を拡張することができる。

対応する音声圧縮形式は MP3/WMA/WAV。WMA の DRM もサポートするほか、ID3 タグ表示も可能。対応ビットレートは MP3 が 8~320kbps、WMA が 48~192kbps。

MP3 エンコード機能も備えており、MP3/WAV 形式での録音が可能。ライン入力、内蔵マイク、もしくは内蔵 FM チューナーでラジオ番組も録音できる。

解像度 128×64 ドットの 2 色有機 EL ディスプレイを採用。スクリーンセーバー機能も備えている。

特殊再生機能としてレジューム再生をサポート。ノーマル/ロック/ジャズ/クラシック/ポップのプリセットイコライザも利用できる。

PC とのインターフェイスは USB 2.0。ストレージクラスをサポートし、フォルダ管理機能も備える。対応 OS は Windows 98 SE/Me/2000/XP、Mac OS 9.1~9.2.2/10.1 以降。

電源は単 4 電池 1 本を使用。連続再生時間は約 12 時間。外形寸法は 33×77×25mm(縦×横×厚さ)。本体のみの重量は 42g。

価格はオープンプライス。ソフマップのみの限定販売となっている。

(7/23)

IFPI、2005 年上期の音楽ダウンロード販売数を発表

国際レコード産業連盟(IFPI)は、2005 年上期における世界の音楽ダウンロード販売数が 1 億 8,000 万に達したという調査結果を発表した。

調査によると、2005 年 1 月~6 月の音楽ダウンロード数は、2004 年同期(5,700 万曲)の 3 倍以上、2004 年同期(1 億 5,700 万曲)を越える 1 億 8,000 万曲。

合法的な音楽ダウンロード販売が行なわれているウェブサイトの数は世界で 300 以上となり、昨年の約 3 倍となっている。

一方、ファイル共有などで違法な音楽ファイル交換は 9 億曲に上り、1 月の調査(8 億 7,000 万曲)と比較して上昇率は 3%とゆるやかになっている。これは、ブロードバンド利用の上昇率 13%を下回っている。

(7/22)

Microsoft、次世代 Windows を「Windows Vista」と発表

米 Microsoft は、2006 年に出荷予定としている次世代 Windows の正式名称を「Windows Vista」と発表した。

従来は「Longhorn(ロングホーン)」のコードネームで呼ばれていた製品で、クライアント用の次世代 Windows となる。

また、Windows Vista の β 1 バージョンは、2005 年 8 月 3 日以降に開発者向けに公開されるとしている。

(7/22)

SCEI、新カラーPSPを発表

ソニー・コンピュータエンタテインメント(SCEI)は、PSP のセラミック・ホワイトモデル「PSP-1000 KCW」を発表した。

PSP-1000 KCW はバリューパックのみで、本体のみの販売は予定されていない。PSP 本体のほか、AC アダプタ「PSP-100」、バッテリーパック「PSP-110」、メモリスティック デュオ 32MB 「PSP-M32」、リモコン付きヘッドフォン「PSP-140」、

ポーチ&ハンドストラップ「PSP-170W」がセットになっている。

また同時に、PSP 本体色に合わせて、オプションとして、ポーチ & ハンドストラップ (ホワイト) 「PSP-170W」(2,100 円)、アクセサリポーチ&クロス(ホワイト)「PSP-220W」(1,575 円)も発売される。

従来のブラックモデルとの仕様上の違いは、ファームウェアがバージョン 2 へアップデートされること。

アップデート内容の最大のポイントは、Web ブラウザ機能の追加。URL を直接打ち込むアクセス方法に加え、お気に入り登録などが可能で、HTML4.01 の表示が可能。ただし、Flash ムービーには非対応。

(7/21)

日産、iPod 接続に対応したオプション用 HDD ナビを発表

日産自動車は、iPod と接続可能な HDD ナビゲーションシステム「HC705-A」をディーラーオプションとして 2005 年 7 月 20 日より発売すると発表した。

HC705-A は、AV 機能を搭載した 2DIN サイズの HDD ナビゲーションシステム。7 インチワイド液晶を搭載し、解像度 480 × 234 ドットでタッチパネル仕様となっている。

DVD/CD/MD の再生が可能のほか、メモリースティックスロットを搭載し、メモリースティック内の MP3 再生にも対応する。また、テレビチューナーや FM/AM ラジオも搭載する。

HDD 容量は 30GB。HDD への 4 倍速録音にも対応し、録音形式などは ATRAC3 形式で、楽曲のデータ容量により最大約 4,000 曲の収録が可能としている。

iPod との連携は別売りの iPod アダプタとの接続で可能となり、タッチパネル上で操作が可能。曲名などもそのまま表示される。また、ナビ本体の電源 ON 時には iPod の充電も行なえる。

対応する iPod は第 2 世代以降の iPod と iPod photo/mini。

価格は HDD ナビ本体の HC705-A が 315,000 円、iPod 接続用の「iPod アダプタ」が 20,685 円(いずれも取付費、消費税込)。対応車種は、セレナ、

ノート、ラフェスタ、ティエダ、キューブ、X-TRAIL など計 11 車種。

(7/20)

iTunes Music Store が 5 億曲のダウンロード販売を達成

米 Apple Computer は、同社が運営する iTunes Music Store で、ダウンロード販売した楽曲数が 5 億曲を超えたと発表した。

5 億曲目を購入したのはインディアナ州の Amy Greer 氏で、楽曲は Faith Hill の「Mississippi Girl」だった。

Greer 氏には iPod の希望モデルを 10 台と 1 万曲分の iTunes ギフトカードのほか、Coldplay のワールドツアーの招待券 4 枚などが授与される。

iTunes Music Store は 2003 年 4 月のオープン以来、ダウンロード販売した楽曲数は 2004 年 3 月に 5,000 万曲、7 月に 1 億曲、2005 年 3 月に 3 億曲、6 月に 4 億曲に達していた。

(7/19)

昭和電工、垂直記録 HDD 用の 1.89 型プラッタを量産開始

昭和電工は、垂直磁気記録方式の HDD に内蔵する 1.89 インチサイズのプラッタ(ハードディスク)の量産出荷を、世界で初めて開始したと発表した。

量産を開始したのは 1.89 インチのプラッタで、記録容量は従来の面内記録方式の 2 倍となる 1 枚あたり 40GB。

垂直磁気記録方式は、ディスクの縦方向に磁気を記録することで、水平に記録する面内方式と比べ、記録密度を大幅に高められるのが特徴。また、面内では信号磁石がお互いに向かい合い、磁力を弱めあってしまうが、垂直では隣り合う信号磁石がお互いを強めあうため、高密度記録に適している。

昭和電工では 2006 年 3 月までにプラッタの月産能力を、従来から 305 万枚増産した 1,375 万枚にする計画を発表しており、増産時に新設するラインについては全て垂直磁気記録方式に対応可能なラインとするとしている。

(7/19)

Cornice、低価格の 4GB 1 インチ HDD を発表

米 Cornice は、携帯型マルチメディアプレイヤー向け 1 インチ HDD 「Storage Element」4GB モデルを発表した。

最大の特徴は、落下などの衝撃から HDD を保護する独自技術「Crash Guard II」を搭載したこと。衝撃が加わったときにヘッドを退避するだけでなく、データにアクセスしていない間は各駆動部をロックする機構により、データを保護する。

また、振動が与えられるような環境においても継続的にデータ転送が行われるような仕組みも提供されている。

ディスク回転数は 4,440rpm、転送速度は平均 5.5MB/sec。インターフェイスは CF (True IDE mode)。駆動電圧は 3.3V。

本体サイズは 42.8 × 36.4 × 5mm (幅 × 奥行き × 高さ)。高さが 4.37mm の Low Profile バージョンも用意される。重量はスタンダードバージョンが 13.6g、CF バージョンが 14g。

ポータブルオーディオプレイヤーや携帯電話、小型のビデオレコーダ、GPS 端末などでの利用を想定しており、2005 年 7 月中旬に OEM 向けに出荷開始予定。価格は 10,000 個ロット時 65 ドル。

(7/19)

EMD Magazine 第 46 号

発行 2006 年 2 月 4 日

発行所 音楽配信関連情報サービス

責任編集 宮腰 温

レイアウト 株式会社アイビルダーズ